

氏名	国分 貴徳	部署	理学療法学科	職名	助教
研究分野	基礎理学療法、運動器理学療法				
学位	博士(医学、東京医科歯科大学)、修士(リハビリテーション学、埼玉県立大学)、学士(理学療法学、埼玉県立大学)				
学歴	2016年9月 東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 修了 2011年3月 埼玉県立大学大学院 保健医療福祉学研究科 修了 2004年3月 埼玉県立大学 保健医療福祉学部 理学療法学科 卒業(理学療法士)				
経歴	2011年5月 ~ 現在 公立大学法人 埼玉県立大学 理学療法学科 2004年4月 ~ 2011年5月 医療法人 名圭会 白岡整形外科 リハビリテーション科				
所属学会(役職)	国内: 日本理学療法学会、埼玉県理学療法学会(学術局編集部長)、専門リハビリテーション研究会(編集委員) 国際: Orthopaedic Research Society (ORS), Society for Neuroscience (SfN), International Society for Physical and Rehabilitation Medicine(ISPRM)				

【2017年度実績】

1. 研究業績					
	著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	(1)発行所、全ページ数 (2)雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ (3)学会名、開催都市	(1)(2)著者、編者名 (3)発表者(発表者は○印)	発行・発表年月
(1) 著作					
1	該当なし				
2					
3					
(2) 論文					
1	トレッドミル歩行における歩行速度の違いが股関節伸筋群の筋活動に及ぼす影響	共	理学療法-臨床・研究・教育 Vol.25:pp22-26	小平寛岳、 国分貴徳 、他(2番目)	2018.3
2	Split-belt treadmill による非対称歩行時の特異的な身体推進の動態	共	理学療法-臨床・研究・教育 Vol.25:pp27-32	平田恵介、 国分貴徳 、他(2番目)	2018.3
3	歩行中の上肢運動における運動学的協調構造の解析	共	理学療法-臨床・研究・教育 Vol.25:pp33-39	藤野努、 国分貴徳 、他(3番目)	2018.3
4	筋骨格シミュレーションによる歩行時筋張力推定の妥当性検証	共	理学療法-臨床・研究・教育 Vol.25:pp40-44	喜多秀介、 国分貴徳 、他(5番目)	2018.3
5	変形性膝関節症における立ち上がり動作時の膝関節の力学的動態	共	理学療法-臨床・研究・教育 Vol.25:pp57-61	圓尾萌香、 国分貴徳 、他(2番目)	2018.3
6	Exercise enhances cognitive function and neurotrophin expression in the hippocampus accompanied by changes in epigenetic programming in senescence-accelerated mice.	共	<i>Neuroscience Letters</i> , 665:pp67-73 ※IF: 2.180	Maejima H, Kanemura N, Kokubun T , Murata K, Takayanagi K	2018.1
7	Key Determinants of Anterior Cruciate Ligament Spontaneous Healing	共	<i>Journal of Osteoporosis & Physical Activity</i> Vol.5, No.4, pp1-4 (Online)	Kokubun T , Kanemura N,他(筆頭)	2017.11
8	Muscle synergies underlying sit-to-stand tasks in elderly people and their relationship with kinetic characteristics.	共	<i>Journal of Electromyography and kinesiology</i> No.37, pp15-20, ※IF: 1.510	Hanawa H, Kubota K, Kokubun T , et al.(3番目)	2017.8
9	Controlling Abnormal Joint Movement Inhibits Response of Osteophyte Formation.	共	<i>Cartilage</i> . 2017. Apr. (In press) ※IF: 2.000	Murata K, Kokubun T, et al.(2番目)	2017.4
10	Acute chondrocyte response to controlling joint instability in an osteoarthritis rat model	共	<i>Sport Sciences for Health</i> . 13(1); pp113-119	Murata K, Kanemura N, Kokubun T , et al.(3番目)	2017.4

11	Controlling joint instability delays the degeneration of articular cartilage in a rat model.	共	<i>Osteoarthritis and Cartilage</i> 25(2):297-308 ※IF: 4.742	Murata K, Kanemura N, <u>Kokubun T</u> , et al.(3番目)	2017.2
(3) 学会発表					
1	Gene Expression Analysis Identifies Key Genes For Spontaneous Healing Anterior Cruciate Ligament After Complete Injury In Rats	共	Orthopaedic Research Society 2018 Annual Meeting, March 10-13 2018, New Orleans, United States	Kokubun T, Shono H, et al.(筆頭)	2018.3
2	Influence Of Mechanical Stress Accompanying Different Muscle Contraction Modes On Enthesis Structure	共	Orthopaedic Research Society 2018 Annual Meeting, March 10-13 2018, New Orleans, United States	Ozone K, Kokubun T, et al.(2番目)	2018.3
3	Influence of multi-articulated muscle torque on joint dynamics in knee osteoarthritis during sit-to-stand motion	共	Orthopaedic Research Society 2018 Annual Meeting, March 10-13 2018, New Orleans, United States	Sonoo M, Kokubun T, et al.(2番目)	2018.3
4	Validation verification of controlled abnormal joint movement model in mice	共	Orthopaedic Research Society 2018 Annual Meeting, March 10-13 2018, New Orleans, United States	Kanemura N, Kokubun T, et al.(2番目)	2018.3
5	歩行中の矢状面上の足部運動と前額面上の体幹運動は相互に影響する	共	第26回 埼玉県理療学会、2018.1.14,埼玉	藤野努、国分貴徳、他(2番目)	2018.1
6	筋シナジー解析を用いた低速歩行における特徴的な筋活動パターンの検討	共	第26回 埼玉県理療学会、2018.1.14,埼玉	久保田圭祐、国分貴徳、他(4番目)	2018.1
7	脛骨遠位骨端線損傷による足関節外反変形に対してTaylor Spacial Frame を用いて骨延長および変形矯正術を施行された一例 —全足底接地下での荷重練習に着目して—	共	第26回 埼玉県理療学会、2018.1.14,埼玉	塚本栞、国分貴徳、他(3番目)	2018.1
8	筋骨格モデルによる内側型変形性膝関節症者の内反アライメント要因分析	共	第26回 埼玉県理療学会、2018.1.14,埼玉	喜多秀介、国分貴徳、他(7番目)	2018.1
9	歩行時に前足に生じる前方スリップに対するバランス回復にはステップ長の確保が貢献する	共	第26回 埼玉県理療学会、2018.1.14,埼玉	平田恵介、国分貴徳、他(2番目)	2018.1
10	三次元動作解析における関節運動域に応じた適切なマーカーセットの選択	共	第26回 埼玉県理療学会、2018.1.14,埼玉	園尾萌香、国分貴徳、他(2番目)	2018.1
11	癌に脳梗塞を併発し急性期病院からの在宅復帰を目指し理学療法介入を行なった一症例	共	第26回 埼玉県理療学会、2018.1.14,埼玉	大場鴻大、国分貴徳、他(3番目)	2018.1
12	Contribution of lower limb joint movement to symmetrization of step length in split-belt locomotion	共	Neuroscience 2017 Annual Meeting, Washington D.C., United States	Hirata K, Kokubun T, et al.(2番目)	2017.11
13	The influence of the difference in the volume of keying on trunk movement during piano performance	共	Neuroscience 2017 Annual Meeting, Washington D.C., United States	Kobayashi A, Kokubun T, et al.(2番目)	2017.11
14	Analysis of kinematic synergy in arm swing during gait	共	Neuroscience 2017 Annual Meeting, Washington D.C., United States	Fujino T, Kanemura N, Kokubun T, et al.(3番目)	2017.11
15	Muscle synergies underlying sit-to-stand tasks in acute stroke patients	共	Neuroscience 2017 Annual Meeting, Washington D.C., United States	Hanawa H, Kubota K, Kokubun T, et al.(3番目)	2017.11

16	Relationship between muscle synergy in knee osteoarthritis patients and the functional evaluation of knee joints	共	Neuroscience 2017 Annual Meeting, Washington D.C., United States	Kubota K, Hanawa H, Kokubun T, et al.(3番目)	2017.11
17	Activation of neuroplasticity pathways in the rat spinal cord through treadmill exercise View session detail	共	Neuroscience 2017 Annual Meeting, Washington D.C., United States	Oka Y, Kanemura N, Kokubun T, et al.(5番目)	2017.11
18	Influence of nerve regeneration on anterior cruciate ligament injury healing process in a rat model	共	Neuroscience 2017 Annual Meeting, Washington D.C., United States	Kanemura N, Kokubun T, et al.(2番目)	2017.11
19	前十字靭帯損傷後の関節運動適正化は、運動に伴う過度な炎症を抑制し治癒に貢献する	共	第36回関東甲信越ブロック理学療法士学会. 長野	国分貴徳、他(筆頭)	2017.9
20	変形性膝関節症患者における立ち上がり動作の膝関節ダイナミクスは他関節の影響を受け	共	第36回関東甲信越ブロック理学療法士学会. 長野	園尾萌香、国分貴徳、他(2番目)	2017.9
21	Split-belt treadmillによる非対称歩行時の特異的な身体推進の動態	共	第36回関東甲信越ブロック理学療法士学会. 長野	平田恵介、国分貴徳、他(2番目)	2017.9
22	関節不安定性が関節内構成体に及ぼす影響について	共	第36回関東甲信越ブロック理学療法士学会. 長野	村田健児、国分貴徳、他(2番目)	2017.9
23	歩行中の上肢運動における運動学的協調構造の解明	共	第36回関東甲信越ブロック理学療法士学会. 長野	藤野努、金村尚彦、国分貴徳、他(3番目)	2017.9
24	脳卒中患者の起立動作時における筋の活動適応は急性期から生じる	共	第36回関東甲信越ブロック理学療法士学会. 長野	塙 大樹、久保田圭祐、国分貴徳、他(3番目)	2017.9
25	異なる筋収縮形態における機械的負荷がEnthesis構造に及ぼす影響について	共	第36回関東甲信越ブロック理学療法士学会. 長野	小曾根海知、国分貴徳、他(2番目)	2017.9
26	速度変化に伴った筋シナジーの変化と生体力学との関連性の検討	共	第36回関東甲信越ブロック理学療法士学会. 長野	久保田圭祐、塙大樹、国分貴徳、他(3番目)	2017.9
27	異なる週齢ラットに対する同強度の運動介入がPI3K/Akt経路に与える影響	共	第36回関東甲信越ブロック理学療法士学会. 長野	岡優一郎、国分貴徳、他(5番目)	2017.9
28	損傷靭帯自己治癒過程における創傷治癒関連遺伝子の網羅的発現解析	共	第36回関東甲信越ブロック理学療法士学会. 長野	森下佑里, 金村尚彦, 国分貴徳、(3番目)	2017.9
29	変形性膝関節症における関節運動の変化が疼痛関連因子に与える影響	共	第36回関東甲信越ブロック理学療法士学会. 長野	中島彩, 村田健児, 国分貴徳、(3番目)	2017.9
30	3次元動作解析装置を用いた手指関節角度算出アルゴリズムの精度検証	共	第36回関東甲信越ブロック理学療法士学会. 長野	小林章、国分貴徳、他(2番目)	2017.9
31	リバーズ型人工肩関節置換術後に結髪動作制限を呈した症例	共	第36回関東甲信越ブロック理学療法士学会. 長野	島田ひかり、国分貴徳、他(2番目)	2017.9
32	筋骨格シミュレーションを用いた変形性膝関節症者の歩行時筋筋力推定	共	第36回関東甲信越ブロック理学療法士学会. 長野	喜多俊介、国分貴徳、他(5番目)	2017.9
33	立ち上がり動作における膝関節キネティクスに及ぼす体幹ダイナミクスの影響	共	第52回日本理学療法学会. 千葉	園尾萌香、国分貴徳、他(4番目)	2017.5

34	ラット末梢神経損傷モデルにおける経時的運動介入が神経再生に与える影響	共	第52回日本理学療法学会大会. 千葉	桑原希望、国分貴徳、他(4番目)	2017.5
35	立位姿勢における脊柱の動きの解析と制御の解明	共	第52回日本理学療法学会大会. 千葉	宮澤拓、国分貴徳、他(2番目)	2017.5
36	筋骨格モデルによる健常成人歩行の筋活性推定とその妥当性の検討	共	第52回日本理学療法学会大会. 千葉	喜多俊介、国分貴徳、他(5番目)	2017.5
37	打鍵時の音量変化が体幹及び上肢運動制御に及ぼす影響	共	第52回日本理学療法学会大会. 千葉	小林章、国分貴徳、他(2番目)	2017.5
38	加齢ラットに対するトレッドミル運動が脊髄前角エリアにおけるGDNFの発現に与える影響	共	第52回日本理学療法学会大会. 千葉	中本幸太、村田健児、国分貴徳、他(3番目)	2017.5
39	体幹の傾斜角度がスクワット動作時の下肢キネマティクスに及ぼす影響	共	第52回日本理学療法学会大会. 千葉	松本優佳、国分貴徳、他(2番目)	2017.5
40	関節内周辺組織は、前十字靭帯の自己治癒に寄与しているか？	共	第52回日本理学療法学会大会. 千葉	国分貴徳、他(筆頭)	2017.5
41	現状の理学療法教育における身体運動力学に関する教育内容と現場ニーズの乖離	共	第52回日本理学療法学会大会. 千葉	国分貴徳、他(筆頭)	2017.5
42	関節不安定性の制動が膝関節軟骨の異化反応に及ぼす影響—組織学的・運動学的解析—	共	第52回日本理学療法学会大会. 千葉	鬼塚勝哉、国分貴徳、他(3番目)	2017.5
43	小学生と大学生を対象とした足部・靴に関する横断的調査研究	共	第52回日本理学療法学会大会. 千葉	中井謙吾、国分貴徳、他(2番目)	2017.5
44	走行運動による中枢神経活性化因子の発現動態	共	第52回日本理学療法学会大会. 千葉	金村尚彦、国分貴徳、他(2番目)	2017.5
45	異常運動の制動が関節軟骨に与える組織学的影響	共	第52回日本理学療法学会大会. 千葉	三井直人、国分貴徳、他(2番目)	2017.5
46	走行運動が老齢・中年ラット脊髄における脳由来神経栄養因子とシナプス関連タンパク質の発現に及ぼす影響	共	第52回日本理学療法学会大会. 千葉	白勢陽子、国分貴徳、他(5番目)	2017.5
47	非対称歩行時の左右下肢における蹴り出しの変化と交互性の検討	共	第52回日本理学療法学会大会. 千葉	平田恵介、国分貴徳、他(2番目)	2017.5
48	異なる筋収縮様式がラット棘上筋腱複合体及び骨接合部に及ぼす影響	共	第52回日本理学療法学会大会. 千葉	小曾根海知、国分貴徳、他(2番目)	2017.5
49	矢状面上の体幹質量中心位置の変位は前額面の歩行ダイナミクスに影響する	共	第52回日本理学療法学会大会. 千葉	藤野努、国分貴徳、他(3番目)	2017.5
50	変形性膝関節症者の歩行における特徴的な筋活動パターンの解明	共	第52回日本理学療法学会大会. 千葉	久保田圭祐、塙大樹、国分貴徳、他(3番目)	2017.5
51	関節軟骨変性過程における関節不安定性と骨棘形成の関連	共	第52回日本理学療法学会大会. 千葉	村田健児、国分貴徳、他(3番目)	2017.5
52	非対称歩行時の左右下肢におけるけり出しの変化と交互性の検討—Split-belt treadmillの理学療法応用	共	第52回日本理学療法学会大会. 千葉	平田恵介、国分貴徳、他(2番目)	2017.5

53	姿勢や肢位の違いが下肢伸展時の筋活動に及ぼす影響	共	第52回日本理学療法学会大会. 千葉	瀧谷春奈、国分貴徳、他(2番目)	2017.5
54	ラット前十字靭帯自己治癒過程における膠原繊維の顕微鏡的観察	共	第52回日本理学療法学会大会. 千葉	森下佑里、金村尚彦、国分貴徳、他(3番目)	2017.5
55	末梢神経損傷モデルラットに対する運動介入が神経筋接合部の形態変化に及ぼす影響	共	第52回日本理学療法学会大会. 千葉	峯岸雄基、国分貴徳、他(5番目)	2017.5
(4) その他					
1	該当なし				
2					
3					
2. 競争的資金等の研究					
	競争的資金等の名称		研究名、研究代表者・研究分担者の別		研究期間
1	該当なし				
2					
3					
3. 教育業績					
	講義・演習・実習・論文指導等の名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)		
(1) 講義					
1	運動学入門	2016.4~8	1年生に対し解剖学と運動学との関連について講義と実習を行った。		
2	身体構造運動学	2017.10~2018.2	1年生に対し、人体の各関節における機能解剖について、講義を行った。また、講義を収録し、Web Classで視聴可能な環境を整えた。講義内で開発したiPad Appを使用して解説を行った。		
3					
(2) 演習					
1	理学療法特別演習	2017.12	4年生に対し、国家試験に関わる解剖・生理学領域の解説を行った。		
2	理学療法セミナー(OSCE I, II)	2017.4~2017.8	3,4年生に対し、科目担当者として試験監督とフィードバックを担当した。		
3	運動学的臨床推論演習	2017.11~2018.2	3年生に対し、患者の病態について、運動学的な視点から問題点を考察し、介入方法を検討する流れについて演習を行った。		
(3) 実習					
1	ヒューマンケア体験実習	2018.9~2018.10	1年生に対し、施設担当者として実習を担当した。		
2	運動学実習	2017.4~2018.8	2年生に対し、重心の推定とその動揺、姿勢と重心について、古典的方法から、重心動揺計及び三次元動作解析装置と床反力計を使用した実習を行った。		
3	機能診断学実習	2017.10~2018.2	2年生に対し、整形外科疾患の基本的な評価において使用するテスト方について実習を行った。主として上肢の評価方法を担当した。		
4	臨床教育実習 I, II, III, IV	2017.9~2018.3	2,3,4年制の実習における施設の担当者として、実習施設訪問と実習後のフィードバックを担当した。		
(4) 論文指導					
1	卒業論文1	2016.4~2017.12			
2	卒業論文2	2016.4~2017.12			
3	卒業論文3	2016.4~2017.12			
3	卒業研究補助(OT学科)	2017.6~2017.12			
(5) その他					
1	学部ゼミ生指導	2017.4~2018.3	1~4年生の総勢13名のゼミ生に対し、指導を行った。		
2	国立リハビリテーションセンター学院 義肢装具学科(非常勤講師)	2017.8~2017.12	運動学に関する講義と試験を担当した。		
3					
4. 社会貢献活動					
(1) 講演会、研修会等の講師					

	講演会、研修会等の名称	主催	講演、研修等のテーマ	開催年月
1	臨床実習指導者講習会	本学理学療法学科	足の機能解剖とテーピング	2017.8
2	大学見学会・模擬講義	県立松山高校	身体の形と機能	2017.12
3	彩の国いきがい大学熊谷学園	公益財団法人いきいき埼玉	高齢者の身体と運動	2018.2
4	SP(模擬患者)向け講習会	埼玉県立大学	高齢者の身体と運動	2018.2
5	卒業生向け症例検討会	理学療法学科卒業生	症例検討	2018.4～2019.3
6	施設勤務理学療法士向け症例検討会	シルバーケア敬愛	症例検討	2018.4～2019.3
(2) 国、自治体、財団法人等における委員等				
	国、自治体、財団法人等の名称	委員等の名称	任期	
1	公益社団法人 埼玉県理学療法士協会	学術編集部長		
2	専門リハビリテーション研究会	学術査読委員		
3	体力科学会	査読委員		
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容	年月	
1	コーティング・クリニック	「前十字靭帯損傷に対する保存的治療法の可能性」	2017.9	
2	広報こしがや 健康情報コラム	「痛くても我慢して動かす？四十肩・五十肩」	2018.2	
3				
5. 学内運営(委員会委員)				
1	情報図書委員会委員(2013.4～)			
2	理学療法学科:19期生副担任、学科教育費管理担当、学科備品管理担当、オープンキャンパス運営			
3				
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)				
	受賞名	主催	受賞年月	
1	該当なし			
7. 特許の保有状況				
	特許名	特許番号	登録年月	
1	該当なし			
8. 特記事項				
	該当なし			